

## 会議録

会議の名称	西東京市立ひばりが丘中学校及び西東京市立田無第二中学校 通学区域見直し等に関する地域協議会（第6回会議）
開催日時	平成29年12月20日（水） 午前10時00分から午前11時55分まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	<p>&lt;委員&gt;真鍋 五十鈴、喜多見 郷子、勝見 俊也、志水 郁子、中平由美子、加瀬 裕子、井上 雅子、瀬沼 洋子、本名 修也、安形 麻理、高野 富、住田 佳子、野崎 信行、佐藤 裕子、水野 伸一郎、永井 昌史、広野 園枝、中村 清敬（谷戸第二小副校長 代理出席）、高柳 徹、菅家 淳子、屋宮 茂穂（順不同・敬称略）</p> <p>&lt;事務局&gt;南里由美子（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、和田克弘（教育企画課企画調整係長）</p>
傍聴者	0人
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会議録の確認</li> <li>3 説明会の結果について</li> <li>4 地域協議会検討結果報告書（案）について</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議資料の名称	<p>資料1 地域協議会（第5回会議）会議録（案）</p> <p>資料2 ひばりが丘中学校の移転に伴う通学区域見直しの検討に関する説明会（実施結果）</p> <p>資料3 ひばりが丘中学校及び田無第二中学校通学区域見直し等に関する地域協議会検討結果報告書（案）</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>&lt;○発言者：発言内容&gt;</p> <p>開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長：第5回の会議録（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員：（異議なし）</p> <p>○会長：それでは正式な会議録とする。</p> <p>議題3 説明会の結果について</p> <p>議題4 地域協議会検討結果報告書（案）について</p> <p>○事務局：資料2及び資料3に基づき一括して説明。</p> <p>○会長：主な協議事項は、説明会におけるご意見の検討と報告書の内容確認となる。</p>	

学校運営上、ひばりが丘中、田無二中の両校がバランス良く成り立つのが協議の前提となる。

<各小・中学校の委員を1グループとした意見交換、発表>

- 委員（ひばりが丘中）：小中連携ができるかたちが良い。住吉小での説明会は1案が多かった点が気になる。
- 委員（ひばりが丘中）：中学校への進学で今までと変化がない方が良いのでは。児童全員の進学先が変更となる小学校の意見はどうか。谷戸小で2案が多いのは、協議会での検討結果を尊重してくれたのか。
- 委員（谷戸小）：谷戸小の保護者の方は、田無二中やひばりが丘中の説明会へ参加したのでは。
- 委員（保谷小）：説明会への参加者は、概ね通学区域の変更に関心の高い方ではないか。アンケート結果を保護者全体の総意としてまでは考え難い。学校選択へ配慮が必要。体操着等の学用品への配慮の対応を求める意見もある。
- 委員（田無二中）：学校選択で抽選に当たったが、私立に進学するため辞退する方がいる。抽選もれへの対応について、1月20日で区切られているが、私立中合格より前である。基本的条件への配慮があれば良い。
- 事務局：規則上の制約があるため、今後の検討課題としたい。
- 委員（田無二中）：申し込み時点での対応を検討してほしい。繰り上げ合格も厳しい。そのほか、説明会の質疑について丁寧に回答している。
- 委員（田無小）：配慮事項について全員の同意は厳しい。学校選択等既存の配慮での対応が中心となる。決定事項は分かりやすく周知する。教育的配慮で対応していきたい。
- 委員（保谷小）：田無二中の質疑1について
- 事務局：現在通学中の谷戸小は、全員田無二中へ進学する。この場合、指定校変更の事由に該当し、申し立てが可能となる。指定校変更制度の活用事例として案内した。
  
- 委員（保谷小）：年度末にPTA役員会で経過と方向性を説明する。中学校は3校へ分かれて進学する。親子で進学先が異なる場合の丁寧な説明が必要。
- 委員（保谷小）：報告書の公開について
- 事務局：3月の教育委員会で報告する予定。報告書の確定後に公開する。
  
- 委員（谷戸小）：保護者は、指定校変更がどこまで認められるか理解していない。配慮の許容範囲は慎重に。
- 委員（谷戸小）：保護者への説明の際、必要に応じて教育委員会へ連絡してもらって良いか。可能な限り再度説明会を開いてほしい。
- 事務局：教育委員会へ連絡いただいて結構です。再度の説明会は、内部で協議させてほしい。
- 委員（中原小）：児童数の増加が読めない。特別支援学級ができる。ひばり中への選択について、早めの見通しを示してほしい。
- 委員（中原小）：2案が良いとする雰囲気。どの案でも安全面に配慮してほしい。
- 委員（谷戸二小）：説明会資料から手続に関する質問が多い。集計結果2案が多い。迷われているのではないかと。情報を早めにわかりやすいかたちで提供することが大事。
- 委員（住吉小）：4ページ7番について、感情的なものに対する配慮が必要。選択制

度の人数を多めにしつつ、抽選結果には従ってもらうやり方かどうか。誠意をみせてほしい。情報は早めにしてほしい。

- 事務局：分析しつつ考えていきます。誠意を見せられるように努力します。
- 委員（住吉小）：丁寧な情報発信と説明を。住吉小の出席率が高い。住吉小は1案が多い。心情的には1案となるのもあり得る。2案を丁寧に説明する。
- 副会長：本案は、自信を持って説明できる。特別支援学級への対応も今後の課題。配慮事項も引き続き丁寧に説明していきたい。
- 会長：ひばり中は、住吉小の育成会には常日頃から支えてもらっている。通学区域の変更に伴い、つながりがなくなるのはとても残念。改めて地域とのつながりを再構築していかなければいけない。これからの時代、保護者、地域が結びつく必要がある。両案メリットデメリットはあるものの、地域が分断して進学することの方が問題。長期的視野に立つと2案の方向性でまとめたらどうか。

<一同了承>

- 委員（田無二中）：青嵐中は十分な設備環境で驚いた。学校設備予算は地域全体で見たい。地域の中でうまくバランスを取ってほしい。
- 事務局：ひばり中、中原小の建設の方向性としては、シンプルながら十分な機能としていく。ご意見は承った。
- 委員（ひばり中）：特別支援学級の設置について。
- 事務局：特別支援学級を設置することは決定済み。スケジュール等の詳細は調整中。

議題5 その他

- 事務局：今後の予定について。

閉会